



令和6年度

WWL（ワールド ワイド ラーニング）コンソーシアム構築支援事業  
～Snow Crystal Project in HOKKAIDO～  
カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

ニュース リポート 第8号 2024（令和6）年10月16日（火）

## 10月11日 北海道白老東高等学校PRESENTS 『歴史とSDGsをつなぐ』実施

昨年度に引き続き、WWL事業連携校である北海道白老東高等学校主導による共同探究機会である『歴史とSDGsをつなぐ』を10月11日（金）に実施しました。両校生徒ご対面を経て、混成グループ単位で民族共生象徴空間ウポポイを見学し、屋外の施設を見学し、昼食を一緒にとりました。



アイヌの文化や生活の優れた点、芸術的な点を中心に直接体験することができたこと、しかも生徒間での交流を深めながら学ぶことができたことは、高校生活における貴重な機会になったことと思います。



価値観の多様化が進むなかで、こうした歴史的に重要な文化をしっかりと守っていく、つないでいくことが次世代には重要な概念です。当事業に参加した生徒には頼もしさを感じずにはられません。



午後は、白老町内の仙台藩白老元陣屋資料館を訪問し、見学しました。白老東高校の3名の高校生ガイドの方々には、休日に同資料館でボランティアガイドをし、一般のお客様のガイドをしているとのこと。頑張っている高校生を見てると勇気を与えてもらいます。

また、昨年度に引き続き、同校の志田先生によるガイドも相変わらずのプロフェッショナルぶ

りで、先生の唱える歴史物語の世界に引き込まれてしまいました。

鎖国を続けるべきか、外国の文化をいち早くとり入れて、国が新たな歩みをはじめるか、そんな時代において先見の明を備え、生きた蝦夷地警備の責任者三好監物の人生にふれることもまたSDGsの時代をつくっていくにあたり、とても大切なことであると実感しました。

北海道の歴史、アイヌの文化について、体験を通じて学び、白老東高等学校と北海学園札幌高等学校生とが学びの成果を相互に語り合い、SDGs社会を築いていくことの大切さを認識する。この思いをいっそう強くさせてくれる機会が、「歴史とSDGsをつなぐ」であると、今年度も強く感じました。

